

MY NAME IS TOKYO KAI AND I AM AN ARTOHOLIC

甲斐寿紀雄コレクション展

Contemporary Art Museum, Kumamoto

2019 **10.30** WED ▶▶▶▶▶ 2020 **1.20** MON

熊本市現代美術館 ギャラリーⅢ

10:00-20:00 入場無料 火曜休館

主催／熊本市現代美術館 [熊本市・公益財団法人 熊本市美術文化振興財団]

※GIII(ギャラリーⅢ)は、熊本・九州ゆかりのアーティストを紹介するスペースです。

左上／伊藤存《タイガーコネクション》2005

右上／加藤泉《無題》2003 ©2003 Izumi Kato

中央／金氏徹平《white discharge(outlines #21)》2003

左下／坂本夏子《冬(水仙)のドローイング》2014 ©Natsuko Sakamoto

Photo by Ichiro Mishima

Courtesy of ANOMALY

右下／鋤柄ふくみ《西七根の海・スケッチ》2017

MY NAME IS TOKYO KAI AND I AM AN ARTOHOLIC

アートとのかかわり方はさまざま。作品をつくる人、みる人、語る人、守る人…。

本展でスポットを当てるのは、作品を購入し、コレクションする人、コレクターです。

本展で展示するのは、久留米在住の若手コレクター・甲斐寿紀雄のコレクション作品。

甲斐は学生時代に初めてドローイング作品を購入して以来、

現代美術作品の収集にのめり込み、自らの足で数々のギャラリーを巡り、

自宅でも保管できる小型作品を中心にこつこつと買い集め続け、

そのコレクションは今や160点超。

九州でも有数の現代美術コレクターと言ってよいでしょう。

作品を観て、「いいな」と思い、自分の大事なお金を支払って、それを購入する。

作品を購入することは、愛する作品を手元に所有する喜びをもたらすものであると同時に、

アーティストの活動を認めて応援し、支える方法の一つでもあります。

本展では約50点の作品を展示するとともに、甲斐が各作品と出会ったときのエピソードや、

購入を決断する際の逡巡、作品をコレクションすることを通じて生まれた

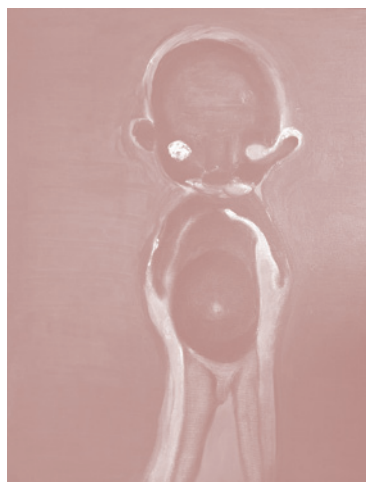
アーティスト本人や他のコレクターとのつながりなど、

コレクションにまつわる様々なストーリーをあわせてご紹介します。

本展を通して、コレクターというアートとのかかわり方に関心を寄せていただければ幸いです。



坂本夏子《犬と坂道のためのドローイング》2014
©Natsuko Sakamoto
Photo by Ichiro Mishima
Courtesy of ANOMALY



加藤泉《無題》2003
©2003 Izumi Kato



浅井裕介《図鑑に載っていない動物》2010
©Yusuke Asai
Courtesy of ANOMALY

【出品作家】※予定

Ciprian Muresan、David Horvitz、Maria Eichhorn、青柳龍太、浅井裕介、荒木経惟、伊藤存、岩崎貴宏、加藤泉、金氏徹平、北井一夫、興梠優護、坂本夏子、佐藤允、佐藤栄輔、鋤柄ふくみ、須田悦弘、田口行弘、内藤礼、名和晃平、廣直高、平敷兼七、森山大道、吉田哲也、和田昌宏

© Ataru Sato



甲斐寿紀雄

1984年、大分生まれ。

2005年頃より

アートに興味を持ち始め
コレクションを開始。

旅館、ギャラリー、
アート施設などで
勤務を経験。

現在、久留米市在住の会社員。

●関連イベント

コレクタートーク「これまでの話とここだけの話」

11.9 SAT 14:00-15:00 ギャラリーⅢ内 **入場無料**

本展出品者の甲斐寿紀雄が、展覧作品の見どころやエピソードをご紹介します。

聴き手：佐々木玄太郎（本展担当学芸員）

熊本市現代美術館

CAMK = Contemporary Art Museum, Kumamoto

熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3階
TEL 096・278・7500 www.camk.jp

